

一般社団法人日本老年歯科医学会 2020 年度第 6 回理事会議事録

日 時： 2020 年 6 月 19 日（金） 10：30～13：04

場 所： Web 開催

出 席： 佐藤裕二 理事長

羽村 章、那須郁夫 両副理事長

上田貴之、水口俊介、櫻井 薫、松尾浩一郎、渡邊 裕、小笠原正、柏崎晴彦、小野高裕、山崎 裕、戸原 玄、大野友久、米山武義、阪口英夫、河相安彦、岩佐康行、竹島 浩、片倉 朗、菅 武雄、菊谷 武、服部佳功、植田耕一郎、高橋一也、眞木吉信、平野浩彦、弘中祥司 各理事

山根源之、森戸光彦 各監事

陪 席： 小原由紀、金澤 学、北川 昇、和田 健、川本章代、梅本文二、堀 一浩、水谷慎介、潮田高志、森田一彦、宮原康太、田村暢章、大井 孝、赤松那保、中川量晴、佐川敬一郎 各幹事

山根 瞳 名誉会員

池邊一典、吉田光由、會田英紀、大神浩一郎、糸田昌隆 各新理事

大久保真衣、田中恭恵、高橋賢晃、太田 緑、高橋利土、若杉葉子、原 豪志、竜 正大 各新幹事

欠 席： 下山和弘、石黒幸枝、各理事

伊藤誠康、石川健太郎、岡田和隆、遠藤眞美、尾崎研一郎、阿部仁子 各幹事
古屋純一、山添淳一、貴島真佐子、中根綾子 各新幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

佐藤理事長より、参集の御礼が述べられた。

III. 議長選出

定款に則り、佐藤理事長が選出された。

IV. 確認事項

1. 定足数の確認

上田理事(総務担当)より、28 名の出席がある旨報告があり、定足数〔定款第 32 条、理事現在数(30 名)の 2 分の 1 以上の出席〕を満たしている事が確認された。

2. 2018 年度第 6・7 回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

3. 2019 年度第 1・2・3・4・5 回理事会議事録

上田理事より資料を元に説明があり、確認された。

V. 協議事項

1. 役員等の選任について

1) 代議員の選任について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り 258 名の代議員の総会上程が承認された。

2) 理事の選任について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、水口理事（次期理事長候補者）より補足説明があり、案の通り理事の総会上程が承認された。

3) 委員会委員一覧

佐藤理事長資料を元に説明があり、水口理事（次期理事長候補者）より補足説明があり、案の通り委員会委員の総会上程が承認された。

4) 支部長一覧

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り支部長が承認された。

5) 関係団体役員一覧

佐藤理事長資料を元に関係団体役員の説明があり、服部理事より口腔乾燥症の分類・治療指針合同作成員会の役員を服部理事(ガイドライン委員会委員長)から戸原理事(次期ガイドライン委員会委員長)に変更する旨の補足があり、合わせて承認された。

2. 名誉会員の推薦について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り下山和弘先生、櫻井 薫先生、高井良招先生、福島正義先生、眞木吉信先生の 5 名の名誉会員推挙が承認された。

3. 学会功労賞の推戴について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、那須郁夫先生、深山治久先生を学会功労賞に推戴することが承認された。

4. 2019 年度事業報告及び収支決算について

佐藤理事長より資料を元に 2019 年度の事業報告(案)が、渡邊理事より資料を元に 2019 年度の収支決算(案)の説明がなされ、森戸監事より監査報告がなされた。審議の結果、事業報告及び収支決算は案の通り承認された。

5. 2020 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

佐藤理事長より資料を元に 2020 年度事業計画(案)の説明があり、渡邊理事より資料を元に 2020 年度収支予算(案)の説明がなされた。審議の結果、事業計画及び収支予算は案の通り承認された。

6. 2020 年度日本歯科医学会会長賞候補者の推薦について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、2020 年度日本歯科医学会会長賞候補者に米山武義先生を推薦することが承認された。

7. 新規入会者の承認について

上田理事より資料を元に説明があり、案の通り新規入会者の総会上程が承認された。

8. 講演謝礼等に関する規則の一部改正について

渡邊理事より資料を元に説明があり、上田理事（総務担当）より日本老年学会総会の際の謝礼の公平化にもなる旨の補足説明があり、案の通り承認された。なお、本年度の学術大会から適応になる旨が補足説明された。

9. 在宅歯科医療 startup 事業について
佐藤理事長より、今後在宅歯科医療に関する事業を実施していく旨の説明があり承認された。詳細は在宅歯科医療委員会で検討することが確認された。
10. 令和4年度診療報酬改正に向けて
佐藤理事長より資料を元に作業内容とのタイムスケジュールについて説明があり、案の通り承認された。
11. 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策に関するアンケート調査について
水口理事より資料を元に説明があり、アンケートの実施について承認された。アンケートの内容については、目的や公表時期、方法等を明確にしたうえで教育委員会にて再検討し、常任理事会、理事会で協議すること旨の補足説明があった。
12. 多職種連携のための略語・業界用語一覧の公表について
佐藤理事長および岩佐理事より資料を元に説明があり、多職種連携のための略語・業界用語一覧をオンラインジャーナルに掲載する旨の説明があり、承認された。
13. 「訪問歯科診療推進マニュアル」（本会監修「在宅歯科医療をさらに高める Clinical Questions と Questions & Answers」）の英訳版の公表について
佐藤理事長より資料を元に説明があり、「訪問歯科診療推進マニュアル」の英語版を公表することが承認された。また、英語版の公表方法に関しては、水口理事(次期理事長)、戸原理事に一任することが合わせて承認された。
14. 今年度研修会開催（Web研修会の充実）について
佐藤理事長より資料を元に、コロナ禍で学術大会、セミナー等の開催が十分に実施できないため、会員サービス拡充策として、当面の間、Web研修会・セミナーの充実を図る旨の説明があった。水口理事より、研修委員会企画の研修会だけでなく、委員会主催研修会、支部セミナー、執行部主催研修会等を積極的に企画していく旨の説明があり、あわせて承認された。
15. 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた老年歯科医学(高齢者歯科学)の講義・臨床実習の実施状況(アンケート)について
水口理事より資料を元に説明があり、小笠原理事（教育担当）より補足説明があり、アンケートの実施について承認された。アンケートの内容については、目的や公表時期、方法等を明確にしたうえで教育委員会にて再検討し、常任理事会、理事会で協議することが確認された。

VI. 報告事項

1. 会務報告

佐藤理事長より、2年間の活動報告と共に各理事の活発な活動への御礼があった。

2. 総務報告

上田理事より資料を元に報告があり、入会者数を増加させるとともに、退会者をいかにして減らすかが重要である旨の補足がなされ、確認された。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告（水口委員長／次期池邊委員長）（総会）報告と計画

水口理事(委員長)より資料を元に学術委員会 2018-2019 年度活動報告があり、確認された。

池邊代議員(次期委員長)より資料を元に、口腔機能低下症の啓発、次期保険改訂に向けてのエビデンス作りなどを行うとともに、口腔機能低下症に関するアプリケーションやクラウドの運用、共同事業や共同研究等を進めていく予定である旨の報告があり、確認された。

2) 学会設立 30 周年記念大会/第 31 回学術大会

水口理事(大会長)より、学会設立 30 周年記念大会/第 31 回学術大会の開催形態については検討中である旨の報告があり、確認された。

河相理事(記念祝賀会準備委員長)より、記念祝賀会の開催、開催方法に関しても検討中である旨の報告があり、確認された。

3) 第 32 回学術大会

河相理事(大会長)より、第 32 回学術大会の準備状況の報告があり確認された。

4) 第 33 回学術大会

小野理事(大会長候補)より、第 33 回学術大会の準備状況の報告があり確認された。

5) 令和元年度老人保健健康増進等事業 報告

渡邊理事より資料を元に令和元年度老人保健健康増進等事業の報告があり、確認された。

6) 令和 2 年度老人保健健康増進等事業 報告

渡邊理事より資料を元に報告があり、令和 2 年度老人保健健康増進等事業の実施計画が確認された。

7) 令和元年度厚生労働省委託事業 報告

水口理事より資料を元に令和元年度厚生労働省委託事業の実施報告があり、確認された。

8) 令和 2 年度厚生労働省委託事業 計画

水口理事より資料を元に報告があり、令和 2 年度厚生労働省委託事業の実施計画が確認された。

9) 平成 30・令和元年度 日本歯科医学会プロジェクト研究 報告

戸原理事より資料を元に平成 30・令和元年度 日本歯科医学会プロジェクト研究の実施報告があり、確認された。

10) 令和元・2 年度 日本歯科医学会プロジェクト研究 中間報告

平野理事より資料を元に令和元・2 年度日本歯科医学会プロジェクト研究の中間報告があり、確認された。

4. 編集報告

松尾理事(委員長)より資料を元に、歴代理事長に「学会の沿革」として在任中の出来事について寄稿していただき掲載した旨、第 29、30 回学術大会の企画演題の演者に寄稿依頼を行い総説として学会誌に掲載した旨、「認定医審査症例レポート」を学会誌のオンライン版に掲載することとなった旨、論文の査読をメールで行うように変更した旨、本年度の論文投稿が 2019 年度と比較して増加傾向にある（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日：15 編、2020 年 4 月 1 日～6 月 4 日：15 編）旨の報告があり、確認された。

小野理事(次期委員長)より資料を元に、本学会論文を海外誌（Gerodontology）に二次出版する件に関して、引き続き継続審議する旨の説明があり、確認された。

5. 財務報告

渡邊理事(委員長)より資料を元に、学会予算の管理および執行に関する取り決めの協議を行うとともに、老年歯科医学会学会設立 30 周年記念事業に関する財政支援に関する検討、新型コロナウイルス感染拡大による、学会事業の中止や延期等に関わる費用収支の取りまとめを行った旨の報告があり、確認された。

山崎理事(次期委員長)より資料を元に、引き続き新型コロナウイルス感染拡大による学会事業の中止や延期等に関わる費用収支のとりまとめと、適切な財務管理を行うとともに、新型コロナにより停滞した学会事業、会員サービスへの財政的支援を行う旨、積立金に関しては学会設立 30 周年記念大会/第 31 回学術大会終了後に見直しを行い、会員管理や会員向けツールの充実などに活用することを検討する旨の説明があり、確認された。

6. 各種委員会 2018-2019 年度活動報告および 2020 年度活動計画

1) 教育委員会

小笠原理事(委員長)より資料を元に、診療参加型臨床実習マニュアルと老年歯科医学教育基準の作成した旨、歯科衛生士教育の老年歯科医学(高齢者歯科学)教育基準の検討を行った旨、「わが国の歯科大学・大学歯学部における訪問歯科診療教育と附属病院における訪問歯科診療の実態」の検討への協力を行い、老年歯科医学会雑誌に投稿した旨の報告があり、確認された。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた老年歯科医学(高齢者歯科学)の講義・臨床実習の実施状況(アンケート)の調査、歯科衛生士老年歯科医学教育基準案の作成、診療参加型臨床実習マニュアルの作成を行う予定である旨の説明があり、確認された。

2) 社会保険委員会

菊谷理事(委員長)より資料を元に、2020 年度診療報酬改定に係る「非経口摂取患者口腔粘膜処置」の指針(案)の作成、口腔機能低下症に関する管理マニュアル案の作成、歯保連試案の作成を行った旨の報告があり、確認された。今後は 2020 年診療報酬改定、2021 年介護報酬改定に向けて活動していく旨の説明があり、確認された。

3) ガイドライン委員会

服部理事(委員長)より資料を元に、「口腔乾燥症の分類、治療指針(案)」、「摂食嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン 2020(案)」の策定を行った旨の報告があり、確認された。

戸原理事(次期委員長)より資料を元に、「口腔乾燥症の分類、治療指針」、「摂食嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン 2020」の公開を目指して活動していく旨の説明があり、確認された。

4) 在宅歯科医療委員会

菅理事(委員長)より資料を元に報告があり、確認された。

佐藤理事長(次期委員長)より資料を元に、COVID-19 に対応した新しい在宅歯科医療の指針の策定、在宅歯科医療の標準テキスト(専門医用)の作成、在宅歯科医療専門医制度の立ち上げ、関連団体との連携の強化を行う旨の説明があり、確認された。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

戸原理事(委員長)より資料を元に、ICT を利用したオンライン診療への対応として、オンライン診療の実施状況把握のためのアンケート調査を行った旨の報告があり、確認された。

吉田代議員(次期委員長)より資料を元に活動計画の説明があり、確認された。

6) 国際渉外委員会

小野理事(委員長)より資料を元に、台湾老年歯科医学会(TAGD)、ヨーロッパ老年歯科医学会(ECG)との交流促進を行った旨の報告があり、確認された。

松尾理事(次期委員長)より資料を元に、引き続き TAGD、ECG との交流促進を目的とした活動を行っていく予定である旨の説明があり、確認された。

7) 広報委員会

河相理事(委員長)より資料を元に、ニュースレターの発刊、ホームページの更新、記念大会の記念VTR およびスライドショーの作成、SNS や会員向けメールマガジンの発信を行った旨の報告があり、確認された。今後は、一般人向けの広報、社員広報の充実のために SNS のフォロー数を増加させる必要がある旨の説明があり、確認された。

8) 研修委員会

片倉理事(委員長)より資料を元に報告があり、確認された。

竹島理事(次期委員長)より資料を元に報告があり、web 研修会の開催および研修会の内容の充実を図る旨の補足があり、合わせて確認された。

9) 学術用語委員会

眞木理事(委員長)より資料を元に、「老年歯科医学用語辞典(第2版)」に掲載されていない用語の選定、学術用語委員会主催シンポジウムの開催、「教育基準案」英語版の検討、「いわゆる痂皮様の口腔剥離上皮を含む膜状の付着物」の学術用語検討を行った旨の報告があり、確認された。

大神幹事(次期委員長)より資料を元に、2023年3月の発刊に向け、「老年歯科医学学術用語辞典(第3版)」に掲載する用語の選定を行う旨の説明があり、確認された。

10) 歯科衛生士関連委員会

小原幹事より資料を元に、歯科衛生士関連委員会主催セミナーの企画運営、学術大会における委員会企画に関する運営、認定歯科衛生士専門審査の実施を行った旨報告があり、確認された。

11) 認定制度委員会

大野理事(委員長)より資料を元に、認定制度規則・細則の改正、認定医審査ケースレポート雛形の作成、認定医審査ポスター作成要領の作成を行った旨の報告があり、確認された。

柏崎理事(次期委員長)より資料を元に活動計画の説明があり、確認された。また、新型コロナウイルス蔓延に伴い、本年度の認定試験実施方法について検討する必要がある旨の補足がなされ、確認された。

12) 認定試験実施委員会(次期は認定制度委員会へ統合)

柏崎理事(委員長)より資料を元に活動報告があり、確認された。

13) 専門医試験問題委員会

高橋理事(委員長)より資料を元に、専門医試験の作問基準の検討、専門医基準図書の見直し、指導医筆記試験の課題作文テーマの作成を行った旨の報告があり、確認された。今後は、2020年度専門医試験問題のブラッシュアップを行う旨、専門医試験の採点方法をマークシートのSCANに変更することを検討する旨の説明があり、確認された。

14) 多職種連携委員会

岩佐理事(委員長)より資料を元に、地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理、多職種連携のための入門研修の開催を行った旨の報告があり、確認された。今後は、11月開催予定の学術大会で地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みを学会ホームページ上に公開できるように活動を進めていく旨の説明があり、確認された。

15) 支部組織・地域保健医療福祉委員会

平野理事(委員長)より資料を元に、学術大会での委員会主催シンポジウムの企画運営、支部長会の開催を行った旨の報告があり確認された。また資料を元に活動計画の説明があり、確認された。

16) 学会間連携委員会

弘中理事(委員長)より資料を元に、「歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン」WGが終了した旨の報告があり、確認された。今後は、脳性麻痺、各種症候群など先天性疾患患者の高齢化への対応について、日本障害者歯科学会とのWGを設立する旨の説明があり、確認された。

17) 表彰委員会

米山理事(委員長)より資料を元に報告があり、老年歯科医学賞、優秀奨励論文賞、優秀課題口演賞、優秀ポスター賞の選考を行った旨の報告があり、確認された。今後は、学術委員会、編集委員会と連携して会員にとってより魅力的な表彰制度となるように検討するとともに、効率的な表彰制度の運用を検討する旨の説明があり、確認された。

18) 規程委員会

阪口理事(委員長)より資料を元に、認定医・専門医制度規程や運用規則などの改変を行った旨の報告があり、確認された。今後も提出された規程の改変講義を迅速に行う旨の説明があり、確認された。

19) 倫理委員会

竹島理事(委員長)より資料を元に、ニュースレター「研究倫理の啓発」の連載(全10回)を行っており、2020年6月30日発行のNo.40で連載が終了する旨の報告があり、確認された。

服部理事(次期委員長)より資料を元に、大学等教育研究機関以外に所属する会員に向けた研究倫理教育の実施、高齢者歯科医療における倫理的問題の整理を行っていく旨の説明があり、確認された。

松尾理事(編集)より、ニュースレターに連載された「研究倫理の啓発」(全10回)をまとめたものを学会誌に掲載してはどうかとの意見が出され、委員会で検討することが確認された。

20) 倫理審査委員会

山崎理事(委員長)より資料を元に活動報告があり、確認された。

糸田代議員(次期委員長)より資料を元に、倫理審査の実施とともに、倫理審査の重要性の啓発と周知、研究倫理研修のeラーニングの積極的な導入を行う旨の説明があり、確認された。

21) 利益相反委員会

植田理事(委員長)より資料を元に報告があり、倫理審査申請時の COI 申告書提出の決定に伴う COI 申告書の内容の変更、修正を行った旨が確認された。

菅理事(次期委員長)より資料を元に報告があり、確認された。

22) 特任(代議員選出選考)委員会

上田理事より資料を元に報告があり、確認された。

23) 特任(病院歯科)委員会

大野理事(次期委員長)より資料を元に、高齢者対応型病院歯科活動の活発化を目的とし、活動内容の検討・ロードマップの策定、病院歯科に関する全国調査の内容についての検討・調査の実施、2021年度学術大会時の病院歯科シンポジウムの企画を行う旨の説明があり、確認された。

7. 日本歯科医学会報告(総会)

佐藤理事長より資料を元に報告があり、確認された。

8. 日本歯科医学会連合報告(総会)

佐藤理事長より資料を元に報告があり、確認された。

9. 日本歯学系学会協議会報告(総会)

羽村理事より資料を元に報告があり、確認された。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告(総会)

菊谷理事より、歯保連試案作成に向けて本学会が担当する52項目に関する治療技術の難易度に関する提案を行った旨、近日中に歯保連試案が公表される予定である旨の報告があり、確認された。

11. 日本歯科専門医機構(総会)

佐藤理事長より資料を元に報告があり、確認された

12. 日本老年学会報告(総会)

佐藤理事長より資料を元に報告があり、確認された。また日本老年学会の名誉会員に本学会から3名選出されているが、今後より多くの会員が選出されるよう働きかけて欲しい旨の提言がなされた。

VII. 閉会の辞

佐藤理事長より、2年間の理事長としての活動へのご支援とご協力に対する御礼がなされた。

那須副理事長より、活発な議論への御礼と閉会の辞があった。

以上